

たのしい工作

レツッ! ダンボール!!



ブラボーカンパニーならではの
ダンボール製の小道具 & 大道具達
製作工程と内部構造大公開!!
基本的な作り方を
青いタマネギ風モンスターで!



1 まずはダンボールを用意。
ティッシュ用かトイレットペーパー用がベスト!
撮影用で綺麗に作るときは
板ダンボールを買ってきます。
ハサミとカッター、ガムテープもお忘れなく。

ダンボールに平面の絵を描いてくり抜き、
これをベースにして同じモノを4枚作ります。



3 一枚を除いて、真ん中から真っ二つ!

1枚残したものに写真のように
ガムテープで貼って骨組みを作ります。



5 5cm幅くらいのダンボールの帯を用意。
帯を柔らかくなめして、
骨組みに貼っていきます。

実際の作業風景。
ドンドン骨組みに貼って
カタチを作っていく金子と保坂。

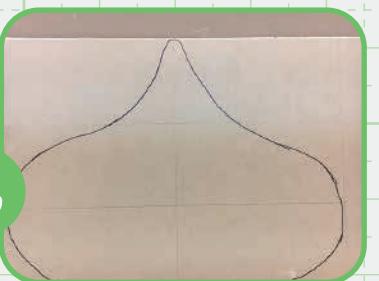


7 ウチ側から見るとダンボールの帯が
ビッシリ。
凸凹がないようにするのがポイントです。

肉付けして、型が出来たら、
木工用ボンドを水に溶かしたモノに
新聞紙を浸して貼っていきます。
ハリボテの要領ですね。



9 ハリボテは佐藤がやり始めた技術。
新聞を貼ると強度も増すし、ペンキも塗り
易くなり、僕らにとって画期的でした。
尊敬の念を込めてハリボテ作業のことを
「佐藤」と呼んでいた時期も。



2



4



6



8



10

乾かし中のタマネギ達。
冬場はなかなか乾かなくて大変。
雨も天敵、部屋がダンボールで埋まります。



12

新聞を乾かしてから微調整。
カタチを整えていきます。
そしてまたハリボテ、根気のいる作業です。



11

完全に乾いたら色を塗って完成!!
自分の作ったタマネギには
愛着もひとしお。



13

よりカタチが複雑なモノは
紙粘土で仕上げます。
振り回したりするモノは新聞だけだと
弱いので布を貼って強化!



15

大きな竜も骨組みは木製。
顔の細かい部分は紙粘土で仕上げてます。



17

大きな鳥は人を乗せるので
木でガッチャリベースを作り
座る場所にはクッションを装備。
首とお尻の所に人が入る構造です。



19

羽毛の部分はフワフワな布を貼って。
それにしてもデカイ!



20

鬼のパーツ作りを乗り越え
金紙を貼って仕上げたモノは
まさに金塊の山! 感無量です!!

21

全てはこの一枚からと
「これダンボールで作れるんじゃない?」
という思いつきから
さあレツッ! ダンボール!!